

平成24年行政事業レビューシート (農林水産省)									
事業名	鶏卵生産者経営安定対策事業			担当部局	生産局			作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度～平成27年度			担当課室	畜産部食肉鶏卵課			食肉鶏卵課長 渡邊洋一	
会計区分	一般会計			施策名	国産農畜産物を軸とした食と農の結び付きの強化				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	食料・農業・農村基本計画				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	鶏卵価格が低落した場合に価格差補填を行うとともに、更に低落した場合、成鶏の更新に当たって長期の空舎期間を設けて需給改善を図る取組を推進することにより、採卵養鶏経営と鶏卵価格の安定を図る。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	鶏卵価格差補填事業(補助率:1/4) 鶏卵の標準取引価格(月毎)が補填基準価格を下回った場合、その差額(補填基準価格と安定基準価格の差額を上限とする。)の9割を補填する。 成鶏更新・空舎延長事業(補助率:定額) 鶏卵の標準取引価格(日毎)が通常の季節変動を超えて大幅に下落した場合は、成鶏の更新に当たって長期の空舎期間を設ける取組に対し、成鶏1羽当たり150円以内(鶏舎収容可能羽数10万羽以上の生産者)又は200円以内(鶏舎収容可能羽数10万羽未満の生産者)の奨励金を交付する。								
実施方法	直接実施      委託・請負      補助      負担      交付      貸付      その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況			21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
			当初予算	-	-	5,189	5,189		
			補正予算	-	-	-	-		
			繰越し等	-	-	-	-		
	計		-	-	5,189	5,189			
	執行額		-	-	3,219				
	執行率(%)		-	-	62.0%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標				単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (各年度)
	・各年度の鶏卵価格の変動幅を平均価格の±25%以内とする。			成果実績	%	-	-	±12.9 (±25)	±25以内
				達成度	%	-	-	100	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	・事業契約対象数量			活動実績 (当初見込み)	万トン	-	-	187  (200)	  (200)
単位当たりコスト	1.7円/kg			算出根拠	事業契約対象数量1キログラム当たりのコスト= / 事業契約対象数量:187万トン 鶏卵価格差補填金交付額(国庫分):3,219百万円				
平成24・25年度予算内訳	費目		24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	鶏卵価格差補填事業		3,833百万円						
	成鶏更新・空舎延長事業		1,356百万円						
	計		5,189百万円						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・状況・予算の		広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	23年度は、東日本大震災の影響もあり、鶏卵価格の大幅な低下が見られず、成鶏更新・空舎延長事業が発動しなかったため不用率が大きくなっている。
		国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
		不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途、費目・		支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績		他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	・事業活動契約数量は当初見込みをやや下回ったものの、従前の事業に比べると契約数量は増加しており(172万トン 187万トン)、今後契約数量は増加することが見込まれる。
		適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		類似事業名とその所管部局・府省名	
-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検結果	<p>【広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか】</p> <p>鶏卵は、安価で良質なタンパク質源として、その安定的な生産基盤を確保することが重要であるが、鶏卵はわずかな需給の変動が大幅な価格の変動につながりやすく、また、他の畜種に比べて供給過剰を起こしやすい生産実態にあるため、需要に即した生産を推進し、鶏卵価格の安定を図る必要がある。</p> <p>【不用率が大きい理由】</p> <p>23年度は、東日本大震災の影響もあり、鶏卵価格の大幅な低下が見られず、成鶏更新・空舎延長事業が発動しなかったため不用率が大きくなっている。</p> <p>【事業の有効性・効率性について】</p> <p>各年度の鶏卵の変動幅を平均価格の±25%以内とする成果目標に対し、23年度の成果実績は12.9%となっており、本事業は有効である。</p> <p>また、23年度から全ての補助を1つの事業実施主体に集約化するとともに、農協組織を経由せずに直接基金に加入する仕組みに改善する等効率化を図った。</p> <p>更なる効率化に向けて、複数の公益法人で管理されていた生産者積立金の基金について一本化を図ることとした。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー		平成23年行政事業レビュー	

**資金の流れ**  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する)(単位:  
百万円)

農林水産省  
3,219百万円



【公募・補助】1法人 / 3法人  
A.(社)日本養鶏協会  
3,219百万円

( 価格差補填金(国庫交付額)の交付、  
成鶏更新・空舎延長事業の奨励金交付 )



B.生産者  
3,219百万円

( 飼料費、光熱水料・労賃等 )

<b>費目・使途</b> (「資金の流れ」 においてブロッ クごとに最大の 金額が支出され ている者につい て記載する。費 目と使途の双方 で実情が分かる ように記載)	A.(社)日本養鶏協会			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	交付金	価格差補填金(国庫交付額)等	3,219			
	計		3,219	計		0
	B.ア(生産者)			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	飼養管理費	飼料費、光熱水料、労賃等	3,219			
	計		3,219	計		0
	C.			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0

# 支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(社)日本養鶏協会	鶏卵価格差補填契約の締結、生産者積立金の徴収及び価格差補填金の交付	3,219	3	33
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ア	鶏卵生産	86	-	-
2	イ	鶏卵生産	63	-	-
3	ウ	鶏卵生産	57	-	-
4	エ	鶏卵生産	55	-	-
5	オ	鶏卵生産	50	-	-
6	カ	鶏卵生産	47	-	-
7	キ	鶏卵生産	45	-	-
8	ク	鶏卵生産	44	-	-
9	ケ	鶏卵生産	38	-	-
10	コ	鶏卵生産	36	-	-